

## 【英語前置詞の謎 サンプル】

PDF ファイルの閲覧ありがとうございます。  
作成者の田中聡一郎です。

これは有料メルマガ「英語前置詞の謎」のサンプルになります。

このメルマガは 2004 年 4 月に発行を始め、2006 年 4 月も発行を続けているもので  
これからも発行を続けていくものです。

英語の前置詞は日本語にないものなので、基礎から学ぶことがとても  
大事になります。

時間をかけて前置詞を理解出来るように、基礎から各前置詞の説明をしています。  
「on」「at」「in」「of」「to」「from」「for」の説明を既に終えています。  
まだまだ前置詞はあるので、これからはしっかりと前置詞の説明をしていきます。

このサンプルは創刊号をそのまま載せています。  
2004 年 4 月の創刊号をそのまま掲載しています。

どんなものか参考にしてください。  
なお有料メルマガの説明ページは以下になります。

↓

↓

## [英語前置詞の謎の説明ページ](#)

サンプルを読んだ後にでも、参考にしてください。

無断転載等は厳禁です。  
著作権は法律により保護されています。

2004年発行 4月7日発行

=====  
=====  
第1号

購読の申し込みありがとうございます。

このメールマガジンは、英語の前置詞を徹底的に見て行くものです。

既にサンプル等で紹介していますが、まずは「on」から見ていきます。

サンプルでも少し取り上げていますが「on」は「上に」という意味ではなく「接している」という意味になります。

この基本的な意味「接している」をしっかりと理解して「on」が使われている文をしっかりと訳せるようにしなければなりません。

また「on」が「接している」と言っても、何に「接している」のかをしっかりと理解しなければなりません。

全てのものに「接している」ことは出来ないの  
どんな場面で使われ、どんな場面で使われないのかを  
しっかりと理解しなければなりません。

「on」は色々な場面で使われる非常に便利な前置詞なのでその意味は多岐にわたります。

しかし、基本的な意味「接している」は常に変わりません。

日本語訳が変わってきますが、英語では常に同じ意味になるので、基本的な意味「接している」を忘れては行けません。

基本をまずはしっかりと確認してから、「on」を見ていきます。

それでは、早速見ていきましょう。

## 《前置詞 on》

☆The book is on the desk.

「本が机の上にある」

☆A clock is on the wall.

「時計が壁に掛けられている」

☆He decided to do something different in the hallway  
by painting on the ceiling.

「彼は壁に絵を描くことで、廊下で何か違うことをすると決めた」

前置詞の「on」が使われています。

「on」は「接している」という意味が基本にあるので  
その基本の意味を常に意識していなければなりません。

「on」は接していれば、色々な場面で使うことができます。  
接しているのは、常に上だけとは限りません。  
下に接しているという意味でも使えます。

さて、例文をしっかりと見ていきます。  
まず

☆The book is on the desk.

この文ですが、日本人にとって一番馴染みのある文となっています。  
「on」が「上に」という日本語になる場合となっています。

もちろん、「上に」などという意味ではなく、「接している」という意味になります。  
「机に接している」という意味なので、自然と「上に」となるのです。

正確に訳せば

☆The book is on the desk.

「本は机に接している」

となります。

日本語ではこういう言い方はあまりしないので「上に」となるのです。

さて、次ですが

☆A clock is on the wall.

「on the wall」となっています。

これは「壁の上に」などという意味では当然ありません。

「壁に接している」のです。

「壁に接している」のですから「壁に掛けられている」という日本語に自然となります。

「掛けられている」という意味が「on」にあるのではなく

「on」という前置詞が日本語にないので、仕方なく

日本語らしくしているだけなのです。

「on」を「掛けられている」という日本語で覚えるのは危険になります。

間違いではありませんが、この意味は常に使われる

訳ではないので、やはり「接している」という意味を理解すべきでしょう。

☆A clock is on the wall.

「時計は壁に接している」

となります。

さて、最後ですが

☆He decided to do something different in the hallway  
by painting on the ceiling.

この英文は少し長くなっており、しかも「in」「by」「on」と  
3 つもの前置詞が使われています。

この英文を正しく理解するには、この 3 つの前置詞をしっかりと  
理解しなければなりません、「on」だけをここでは見ていきます。

さて「on the ceiling」となっています。  
これは「天井に接して」という意味になります。  
「天井の上に」という意味ではありません。

「天井に接して」いるのですから、「天井の下に接する」となります。  
「下に接している」のです。

「on」は「接している」となりますが、常に上だけではありません。  
横もあれば下もあるのです。  
どこでも接することが出来ます。

さて、例文ですが

☆He decided to do something different in the hallway  
by painting on the ceiling.

「天井に絵を描く」と日本語ではなりませんが、絵を描くという  
ことが「天井に接する」のです。  
つまり、「天井に接して」絵があるのです。

絵を描くということは、何かの上に描くことになります。  
つまり、絵というものが、何かに接しているということになります。

ここでは天井に絵を描くということになるので  
天井に接して絵を描くということになります。  
天井を紙と考えれば、紙の上に絵を描くという考えになります。

日本語では「紙の上に絵を描く」と言い

英語では「on」が用いられます。  
これは非常にわかりやすい言い方になっています。

しかし、例文のように「天井に接して」という言い方もあるのです。  
日本語では「天井に絵を描く」となりますが  
英語では「天井に接して絵を描く」と言うのです。

ですから、「紙の上に絵を描く」と日本語では言っても  
英語では「紙に接して絵を描く」という考えになります。  
やはり「上に」という日本語に釣られていては「on」を理解しにくくなります。

さて、3つの例文ですが、「上に接している」場合もあれば  
「横に接している」場合もあり、さらに「下に接している」  
場合もありました。

この3つは全く違うものに接していますが、英語では  
「on」だけで表現が出来ます。  
接していれば良いので、「on」を使えば良いのです。

この3つは基本になりますが、当然ながら接するものは色々とあります。  
わかりやすい場合もあれば、わかりにくい場合もあります。

例えば

☆「彼の車には初心者マークが貼られている」

という日本語を英語にする場合、前置詞の「on」が使われます。  
なぜなら「接している」という意味が含まれているからです。

初心者マークは、車に貼り付けるものです。  
貼り付けるというのは、接するということになるので  
前置詞の「on」を使うこととなります。

ですから

☆He has a newly-licensed-driver sticker on his car.

という感じになります。

「貼られている」となっていますが、別に「貼っている」と言っても、大きな意味の変化はありませんので、普通の文になっています。

「車の上に初心者マークがある」のではなくて「車に接して初心者マークがある」のです。大事なのは「接している」ことになります。

この英文では、「車の上に」と日本語をしても通じますが、やはり「接している」ということを忘れてはなりません。「接している」から「上に」という日本語が出てくるのです。

さて

☆**There was a knife wound on his body.**  
「彼の体には、ナイフの刺し傷があった」

という言い方もあります。

「**on his body**」ですが、「彼の体に接して」となります。

「ナイフの刺し傷が、彼の体に接して」いたのです。ですから「**on**」が使われています。

日本語では「傷が体に接する」などとは絶対言いませんが英語では言うのです。「傷が体に接している」ので「**on**」が使われています。

この英文では「体の上に」とは日本語でも出来ません。「体の上に傷があった」とは日本語でも言わないのでこの英文の訳では「**on**」を日本語に出す必要はありません。

日本語には「**on**」の意味が出て来ていないので日本語から英語にする時には、しっかりと考えないと間違ってしまう。

☆**There was a knife wound on his body.**  
「彼の体に接して、ナイフの刺し傷があった」

となります。

このように細かく日本語で考えることで、正しい前置詞の知識が身に付きます。

ただ単に英文を訳しているのでは、前置詞を身に付けることは出来ません。しかし、しっかりと前置詞の意味を前に出すことで前置詞を理解することが出来るようになります。

さて、今回見た英文ですが

☆The book is on the desk.

☆A clock is on the wall.

☆He decided to do something different in the hallway by painting on the ceiling.

☆He has a newly-licensed-driver sticker on his car.

☆There was a knife wound on his body.

いずれも「on」が使われていますが、それぞれ「on」の意味が違います。しかし、「接している」という意味に変わりはなく英語では常に同じ考えの元、使われています。

こういう英文を訳す時には、日本語にただ単に訳すのではなくしっかりと前置詞の意味を前に出す必要があります。

まずは「on」の基本的なことを見ているですがこういう基本的なことを理解して行くと「on」が色々な状況で使われていても理解出来るようになってきます。

まだ、今回は難しい場面を見ていませんが

徐々に日本語には訳しにくい場面を見ていきます。  
例えば

☆Do you have a watch on you?

という英文です。  
これは最後の「on you」が大事になってきます。  
この最後の部分は日本語にならない部分ですが  
しっかりと日本語に出して、理解が出来るようにして行きます。

「on」は色々な場面で使われる前置詞ですが  
「接している」という意味に変わりはありません。  
日本語にないので、日本語に訳すことは出来ませんが  
理解して行くことは可能です。

まずは「接している」という意味をしっかりと理解する  
ことから始めてください。

それでは。

【終わりに】

以上までがサンプルです。  
既に2年以上前置詞の説明を重ねてきています。

2年間もずっと前置詞を学ぶのは大変なのですが、それくらいしないと前置詞は理解できません。  
また使えるようにはなりません。

前置詞は理解するだけではなくて、使えるようになる、ということが大事です。  
前置詞を理解して、ネイティブ英語を使えるようになって下さい。

前置詞の理解は本当に時間がかかる大変なものです。  
焦らずに前置詞を学んで行って下さい。

なお前置詞を学べる無料メルマガもあります。  
いきなり有料は難しいと思うので、まずは無料から学んで欲しいと思います。  
無料メルマガの説明は以下でしています。

↓

↓

[前置詞を理解し、ネイティブ並の英語を習得する](#)